

# わかやま 県議会 だより

No.8  
平成22年  
【2010】  
5月16日発行

## 2月定例会号

筏下り(北山村)



# 関西広域連合 (仮称)の 議論が本格化!

主な記事

2~3面 平成22年2月定例会概要  
4面 議会活動/予算特別委員会/  
県議会を見る・聞く



### 「関西広域連合」って何?

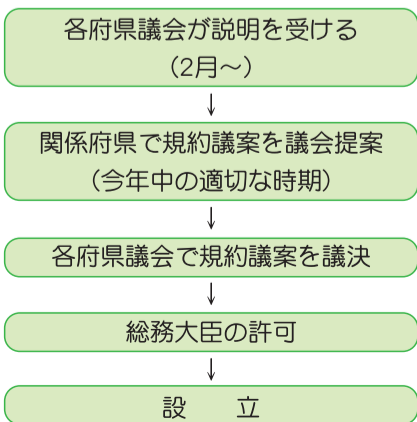
単独の府県では実施できない広域的な事務や、複数の府県が実施する事務を共同で処理するために、新たに作られる特別な地方自治体で、議会や行政機関を持ち、広域防災、広域観光などの役割を担う主体となります。

#### 【参加予定府県】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、徳島県、鳥取県と和歌山県の7府県

※「道州制」とは、府県の存続を前提にする点で異なります。

#### 関西広域連合の設立には



#### 設立当初の事務

- **広域防災**  
東南海・南海地震などに備え、関西全体としての防災対策に取り組む。
- **広域観光・文化振興**  
広域周遊する外国人観光客等を誘致するため、「関西」を魅力ある観光圏としてアピールし、戦略的に取り組む。
- **広域産業振興**  
関西の持つ産業集積・インフラを生かして、関西全体の活性化と国際競争力を強化していく。
- **広域医療連携**  
関西の府県域を越えた広域救急医療連携を充実する仕組みづくりに向けて取り組む。
- **広域環境保全**  
温室効果ガス削減など広域的な課題に対して関西が一体となって取り組む。
- **資格試験・免許等**  
府県ごとに実施している調理師などの試験や免許交付等の事務を集約して二元的に行う。
- **広域職員研修**  
関西共通の政策課題等に関する職員研修を合同で実施し、広域的な視点を持つ職員を養成する。

#### 行政改革・基本計画等に関する特別委員会

和歌山県議会では当委員会において次のような審議を行った。

#### 市長等から意見を聞く

2月15日、県内の市長等3名から意見を聞いた。また、設立当初の事務について県当局から説明を受け、主に次のような質疑を行った。

**Q 広域防災と既存の応援体制はどうなるのか。**

**A** 広域連合に移行するもの以外はそのまま継続される。

**Q 府県を越えた通訳案内ができる関西地域限定通訳案内士(仮称)の実現見込みはどうか。**

**A** 関西エリアを周遊する外国人客の需要が期待でき、制度の創設を目指す。

この他、委員から、県民理解が進むような広報を行うべきとの意見があった。



#### 仁坂知事から規約案の説明を聞く

3月9日、関西広域連合規約案のたたき台について、知事から説明を受け、主に次のような質疑を行った。

**Q 奈良県が参加を見送っているが、本県に与える影響はどうか。**

**A** 奈良県と連携している事務は、住民サービスが低下しないよう、引き続き協力していくとともに、今後も参加を呼びかけていく。

**Q 広域連合議会の20人という規模は、はじめはこのぐらいで、必要が出てくれば見直されていくものと考ええる。**

**Q 広域連合へ出向する職員について。**

**A** 出向する職員の数や財政負担はできるだけ少なくする。

**Q 道州制との関係は。**

**A** 法制度上、全く別の制度であるので、広域連合の延長上に道州制があるものではない。

この他、当初から参加することが和歌山県のためになると考えていること、議会の意見を踏まえ規約の成案を作成していくこと、これまで以上に県民周知を図り理解を得ていくことなど、知事から説明があった。

なお、今後、十分な議論がなされた後、今年中には規約議案を提案したいとのことであった。



# 平成22年度当初予算を可決

# 2月定例会概要

## 知事説明要旨

郷土和歌山に誇りを持ち、自分の将来や地域の発展に「希望」を抱けるような活気に満ちた和歌山を築くため、活力ある産業の創出や観光資源の売り出しなどを積極的に展開するとともに、子育て環境の整備や医療・福祉サービスの体制整備、災害に強い基盤整備など、県民の様々な不安を払拭する「安心」の取組についても、着実に充実・強化します。



## 一般質問議員(17人)

3月5日(金)	3月8日(月)	3月9日(火)	3月10日(水)
吉井 和視	尾崎 太郎	長坂 隆司	中村 裕一
多田 純一	藤本 眞利子	藤山 将材	山下 大輔
原 日出夫	川口 文章	松坂 英樹	中 拓哉
藤井 健太郎	雑賀 光夫	須川 倍行	門 三佐博
新島 雄			

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は下記のとおりです。(要約抜粋)

## 当初予算に対する感想

**問** 22年度は、予算規模5345億円、前年度比2.2%増と積極型予算となっており、各分野に配慮されたバランスのよい予算と思うが、知事の感想は。

**答** 当初予算は、「希望」と「安心」を設計思想として編成した。今県がやるべき施策は財源の許す限りすべて盛り込むことができ、新政策の推進に向けた「積極的な予算措置」と「財政の健全化」という2つの目標を両立させることができた。

## 南紀白浜空港存続の課題

**問** JALが破綻し、地方空港の存続が危ぶまれる中、南紀白浜空港では飛行機材を見直し、座席数が150席から76席に変更されたが、小型化に対する評価、今後の取組は。

**答** 本年4月より小型化されるが、通年3往復が確保されたことは評価したい。今後、特便割引3の導入などによる利便性の向上を生かすとともに、さらなる利用促進を行うことにより利用者の拡大を図りながら、増便や機材の大型化について引き続きJALに対し要望できるような張り詰めていく。



## 関西広域連合の将来のあり方

**問** 設立案では道州制導入ステップになるか、道州制にかわるシステムになるか、今後の検討課題とされているが、将来のあり方をどう見通しているか。

**答** 関西広域連合は、道州制を目指すものではない。設置目的は、広域行政を担う責任主体を確立すること、国の出先機関の権限移譲の受け皿として地域の自己決定、自己責任を果たすことであり、これらは設立以降も変わるものではないと考える。

## 中小企業高度化資金の債権放棄

**問** 平成20年6月議会において債権放棄問題で附帯決議をつけたが、今回の協同組合への融資の債権放棄に当たり、前回の附帯決議を受けとめたか。

**答** 不良債権の処理に当たっては、審査体制をさらに充実し、外部の専門家による徹底的な調査を行ったり、調査結果報告書を議会に提出するなど、附帯決議を重く受けとめている。今後とも債権が県民の税金であるという認識のもと、可能な限りの手段を用いて最大の回収に取り組みとともに、組合資産の徹底的な調査、連帯保証人等への厳しい取り立てをしていく。

**附帯決議(H20.6)**  
今後、やむなく債権放棄せざるを得ない案件が生じた場合は、貸付時及び債権回収過程における問題点について徹底的に調査、分析し、県民の理解が得られるよう充分説明を行うこと。

## 災害に対する知事の心構え

**問** 自分たちの住む地域は自分たちで守ろうという自助・共助の機運が高まっているが、それを力にする公助の観点から、大災害時の総司令官としての知事の心構えは。

**答** 災害時には、危機管理局をはじめ関係部局の職員も各部署や現場で懸命に取り組んでいるが、特に知事の役割は大きい。これまでも大規模災害発生時には知事が防災センターで陣頭指揮をとってきたが、今後も先頭に立ち、迅速かつ的確に対策に当たっていく。



県防災センター  
災害対策本部室

## 子ども手当に対する考え方

**問** 知事は、地域主権や地方自治の本旨に反するということで、他の知事と連名で子ども手当の地方負担に関する要請をされたが、子ども手当に対する考え方は。

**答** 地方の意見を聞くことなく児童手当を子ども手当の一部とすることを決め、県や市町村が児童手当のために拠出した財源を子ども手当の財源の一部に充当することにしたのは、地域主権を標榜する新政権としてはいかがなものかなと思う。

## 選択的夫婦別姓制度に対する考え

**問** 10年以内の制度導入を求めた平成12年の国の審議会答申を踏まえ、現内閣では審議・採択の動きが加速されている。この間、議論が深まったとは思わないが、この制度に対する県の見解はどうか。

**答** この制度は国民生活に広く深くかかわるテーマであり、男女の平等や社会参画といった観点だけでなく、これまで日本が培ってきた文化、家族や親子のあり方など、様々な角度からの国民的議論が必要であると考える。今後、内閣府の世論調査など、国における動きを注視する。



## DV対策

**問** 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)では市町村による基本計画の策定は努力義務であるが、緊急避難等の問題もあり基本計画は必要である。今後どう対応していくのか。

**答** 多様な関係機関が連携し、切れ目のない支援ができるよう現在のネットワークの充実強化に努めたい。住民に身近な市町村に対し、基本計画の策定や体制の整備など地域の実情に応じた連携・協力を働きかけていく。

**DV**  
「ドメスティック・バイオレンス」の略で、同居している家族などから受ける家庭内暴力のこと。



## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	30件	平成22年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件( // )	28件	知事等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例等	//
条例案件(議員提出)	1件	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例	//
その他案件(知事提出)	25件	訴訟の提起について等	//
請願	2件	教育改革についての請願	継続審査
		「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する請願	取下げ
意見書・決議	21件	近畿自動車道紀勢線(御坊～南紀田辺間)4車線化事業の早期着手を求める意見書	可決
		選択的夫婦別姓制度導入に反対する意見書	//
		永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書	//
		予算の適正な配分を求める意見書	//
		地方の社会資本の早期整備を求める意見書	//
		普天間飛行場移設問題の早期決着を求める意見書	//
		シーシェパードによる調査捕鯨妨害活動に対する適切な措置を求める意見書	//
		「子ども手当」の財源の地方負担に反対する意見書	//
		保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書	//
		第70回国民体育大会開催に関する決議	//
		給付型奨学金を求める意見書 他10件	否決

## 会期中の主な動き

### 特別委員会の開催

- 防災・環境問題等対策特別委員会 (3/5)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (3/9)
- 予算特別委員会 (3/11、12、17)

### 会期日程(24日間)

2月	23日(火)	本会議	3月	8日(月)	本会議
	24日(水)	議案調査		9日(火)	
	25日(木)	本会議・常任委員会		10日(水)	予算特別委員会
	26日(金)	議案調査		11日(木)	
3月	1日(月)	本会議	12日(金)	常任委員会	
	2日(火)	議案調査	15日(月)		
	3日(水)		16日(火)		
	4日(木)		17日(水)	本会議・予算特別委員会	
	5日(金)	本会議	18日(木)	本会議	

### 国の道路政策

**問** 現政権の御坊～南紀田辺間の高速道路4車線化事業の停止をはじめとする道路政策についてどのような感想を持つか。

**答** 都市部から優先的に道路が整備され、「やっつとこれから」というときに地方の道路整備をやめてしまうのはアンフェアである。本県のように未整備箇所が多い地域では今後も新規事業を採択してもらわねばならず、高速道路をはじめ本県に不可欠な道路が着実に整備されるよう働きかける。

### 高野山環状道路の整備

**問** 世界遺産登録を機に外国からの来訪者も急増し、休日には高野山中心部で激しい交通渋滞が発生している。平成27年の高野山開創1200年記念大法会に対応できるような環状道路の整備が必要ではないか。

**答** 高野山内の幹線道路にかわるバイパス道路については、交通渋滞の緩和、世界遺産地域としての環境保全、また今後の高野町のまちづくりに必要であるため、補正予算で事業着手した。今後、具体的な計画について地元の意見を伺い、関係機関とも調整した上で早期整備に努めていく。



### 上海万博での本県PR

**問** 本年5月より開催される上海万博内の日本産業館イベントステージにおいて徐福を中心に世界遺産・熊野を紹介するため、県にも支援してもらいたい。どうか。

**答** 10月8～10日に日本館イベントステージにおいて観光や食の魅力をPRするイベントを開催するが、紀南地域でも住民、経済団体、行政が一丸となり万博参加を通して地域活性化を図ろうという話は、大変すばらしい。今後、どのような協力・支援ができるか、主催者や関係者の話を聞いて検討する。



### 農畜産業のアジア進出

**問** 和歌山での生産を基本としつつ、アジア各地にも現地法人を置き、生産販売を拡大させていく戦略は非常に有効である。そういったチャレンジを後押しする取組を検討してはどうか。

**答** グローバル化が進む中、中国やアジアへの進出も選択肢の一つである。今後、アンテナを高くして海外情報の収集に努め、県内で新しくチャレンジに意欲を燃やす農業者や法人等があれば、情報の提供、関係機関とのコーディネートなど、できる限りの支援を行っていく。

### 県携帯モバイルサイトの充実

**問** 県が開設している「和歌山県モバイル情報館」は、県民へのお知らせ的な印象が強いが、もっと内容を充実し、多くの人に見てもらおう工夫をしてはどうか。

**答** 「情報館」では、緊急情報の提供をはじめとする県政ニュースや観光情報等の発信を行ってきた。今後一層、地域や特産品の魅力といった県外に向けた情報の充実とともに、使いやすさを兼ね備えたホームページを目指す。



### 「子どもの貧困」と教育費

**問** 高校授業料の無償化は歓迎するが、これまで授業料減免を受けていた家庭への就学援助や給付型奨学金のようなものが必要ではないか。

**答** 経済的な理由で就学が困難な児童・生徒に対し、学校現場でのよりきめ細かな取組が必要である。高等学校における授業料以外の教育経費の負担軽減については、給付型奨学金などを含め就学援助の制度化を国に働きかけており、今後も引き続き要望していく。

### 永住外国人への地方参政権付与

**問** 参政権は日本国民固有の権利であり、外国人に地方参政権を付与することは憲法違反である。永住外国人への地方参政権付与をどう考えるか。

**答** 参政権は「国民」とは何かという国家のあり方の根幹にかかわる問題である。現時点では国民の間で熱心な議論が行われていると言いがたく、政府は十分世論を喚起してから判断すべきと考えられる。

### 高校授業料無償化に伴う諸問題

**問** 授業料の無償化に伴い、一緒に納めていた学校納付金の納入方法が課題となる。条例化などによって保護者に納得してもらえないようなサポート策を示してほしい。

**答** PTA会費等の学校納付金は、その趣旨からも条例化はなじまないと考えられる。今後も引き続き、保護者に理解してもらえよう、各学校及びPTAにおいて、十分に説明責任を果たさなければならぬと考える。

### 中高一貫教育校の現状

**問** 岩出市や紀の川市から「那賀地域へ中高一貫校の設置を」との要望がある。県立中学校への出願者数と倍率、那賀地域からの出願者数、私立中学校への出願者数と倍率はどうか。

**答** 県立中学への志願者は毎年1500名程度、倍率は3.8倍程度で、那賀地方からは150名ほどの志願者がいる。私立中学校への志願者は、県全体の志願者が1800名程度で倍率は2.5倍程度と聞いている。県立中学校のあり方については、設置後の検証を進め、その結果をもとに、きくに教育協議会で十分協議する。また、未設置地域から協議の申し出があれば、ともに考えていく。



県議会を

# 見る聞く

TV

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

**テレビ** テレビ和歌山

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(6月定例会放送予定 6/7、14～17、23)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

**ラジオ** 和歌山放送

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送(6月定例会放送予定 6/7、14～17、23)



## 県議会ホームページ

和歌山県議会

検索

和歌山県議会 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

※録画配信は、議場の工事に伴うサーバーの一時撤去のため、5月31日(予定)まで休止しています。



## 傍聴してみませんか

● 本会議は、申込みなしで傍聴できます。

● 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

### 平成22年6月定例会 会期日程(予定)

本会議	6月7日(月)
本会議(質問)	6月14日(月)～17日(木)
常任委員会	6月18日(金)・21日(月)
本会議	6月22日(火)～23日(水)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

## 「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方々による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局議事課まで

## 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。県民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

**編集後記** 2月定例会は、今年最初の議会ということで、平成22年度一般会計予算を中心に県政の課題について多くの議論が交わされ、緊張の日々でした。また、今号で表紙を飾った「関西広域連合」は、まだまだこれから話し合われる事が多く、具体的なイメージをどのような写真、イラスト等でお伝えするかに苦心しました。「関西広域連合」のイメージを皆さんに少しでもお届けすることができたでしょうか……。

## お問い合わせは県議会事務局各課まで

総務課	議会庶務、情報公開など	☎ 073-441-3560 Fax 073-441-3559
議事課	傍聴、請願、陳情の受付など	☎ 073-441-3570 Fax 073-441-3575
調査課	調査業務、議員提案条例など	☎ 073-441-3580 Fax 073-441-3581

発行日 平成22年5月16日

編集・発行 和歌山県議会 ☎ 073-441-3570  
〒640-8585(県庁専用郵便番号)  
和歌山市小松原通1-1



## 議会活動 TOPICS

### 関空—中国山東省 定期便就航

関西国際空港と中国山東省の濟南遥牆国際空港との間に山東航空の定期便が就航したことに伴い、富安議長をはじめ議員3名が副知事と県内企業とともに、山東省を訪問しました。

また、山東航空本社、濟南市人民政府を訪れ、張幸福山東航空会長、陳先運濟南市副市長と会談し、定期便開設の御礼と増便のお願いをし、和歌山県を含めた関西地域と山東省との連携の強化を求めました。



関空—濟南の定期便 週2往復(火・土曜日)  
濟南発8:05→関空着11:35 関空発12:35→濟南着14:25

### 予算特別委員会

知事出席のもと、県の新年度予算案について審議を行い、原案どおり可決しました。

主な質疑は次のとおりです。

● 海外の県人会との今後の付き合い方は。

● 海外の県人会とはこれまで以上に付き合っていきたい。これまでの周年事業での訪問や県人会来県時の交流に加え、県の物産展の開催や観光PRに、現地で協力を得ている。県人会の子弟が故郷を訪れたいという要望には、県も協力して何らかの支援を行いたい。

● 青陵高校と陵雲高校の統合が在校生に不安を与えていると聞くが、統合後の定時制課程と通信制課程の授業のすみ分けについてはどうか。

● 統合しても、これまでと同じように、それぞれの課程で学習する。必要な交流は考えられるが、基本的には別々でこれまでと変わらない。

### 質問委員(8人)

3月11日(木) 谷 洋一・片桐章浩・平木哲朗・角田秀樹  
3月12日(金) 山田正彦・奥村規子・泉 正徳・山下直也

● 市町村財政の健全化について、県の対応はどうか。

● 財政指標が一定の基準を超えた地方公共団体は、財政健全化計画の策定等が義務付けられたが、現在、県内には策定が必要な市町村はない。市町村財政の健全化には、自助努力が重要であるが、県としても市町村を取巻く環境の変化に応じ、適切な助言を行うとともに地方交付税の確保を強く国に働きかける。

● 東南海・南海地震への対策として、公立学校の耐震診断、耐震化率の進捗状況はどうか。

● 県内の公立小中学校の耐震診断は、建替え等予定の校舎等を除きほぼ完了し、耐震化率は平成21年4月1日現在、65.8%で、全国18位である。県立学校は耐震診断調査



を完了し、今年3月末現在、94.5%の予定である。

● カジノ・エンターテインメントについて、積極的に誘致すべきと考えるがどうか。

● カジノについて、真っ先にということではなく、今から研究しておこうということ、ご理解いただきたい。県民生活を守り、楽しみも追求できるような制度について、勉強していきたい。

● 県内の特別養護老人ホーム待機者の支援策はどうか。

● 「わかやま長寿プラン2009」に基づく計画的な施設整備に加え、経済危機対策に基づく緊急整備を積極的に促進し、平成22年度は、特養6施設(190床)の増築、小規模特養3施設(87床)の新

設を計画し、また、ショートステイ等の整備や在宅介護サービスの充実を努める。

● 県の緊急雇用基金を利用した高校卒業者の未就職対策とは。

● 新規高卒未就職者を県の臨時職員として雇用する。これは、あくまでも正規就職への橋渡しであり、関係機関に配置している就職支援員等が、2月に設置した連絡会議を核に機能的に連携しながら希望の就職につながるよう支援する。

● 観光資源としての和歌浦の海と、本年開催予定の「和歌の浦オープンウォータースイミング」(仮称)についてどう思うか。

● 和歌浦の海は、本県にとって大変貴重な観光資源と考える。この和歌浦の海を舞台とした大会の提案には大いに賛同する。県としても、地元和歌山市とも協調しながら、できる限り協力したい。